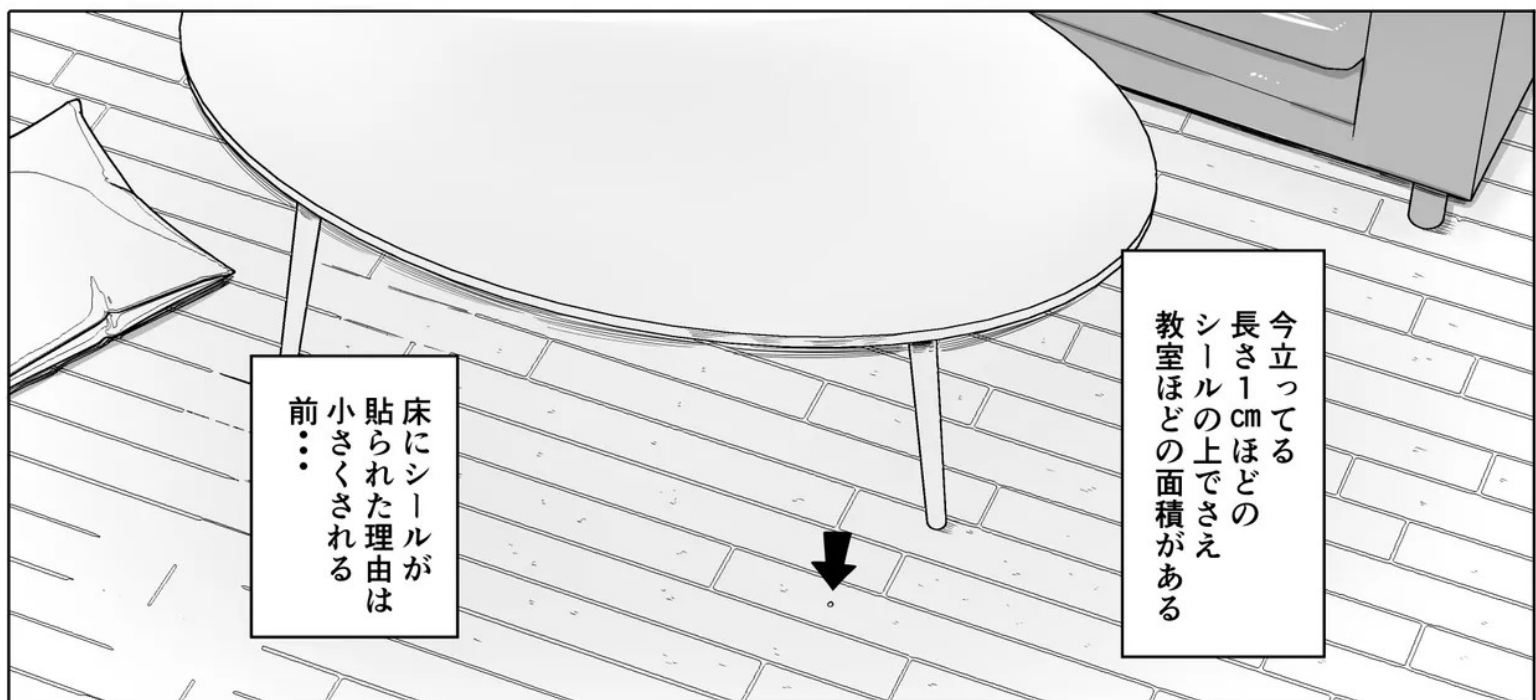
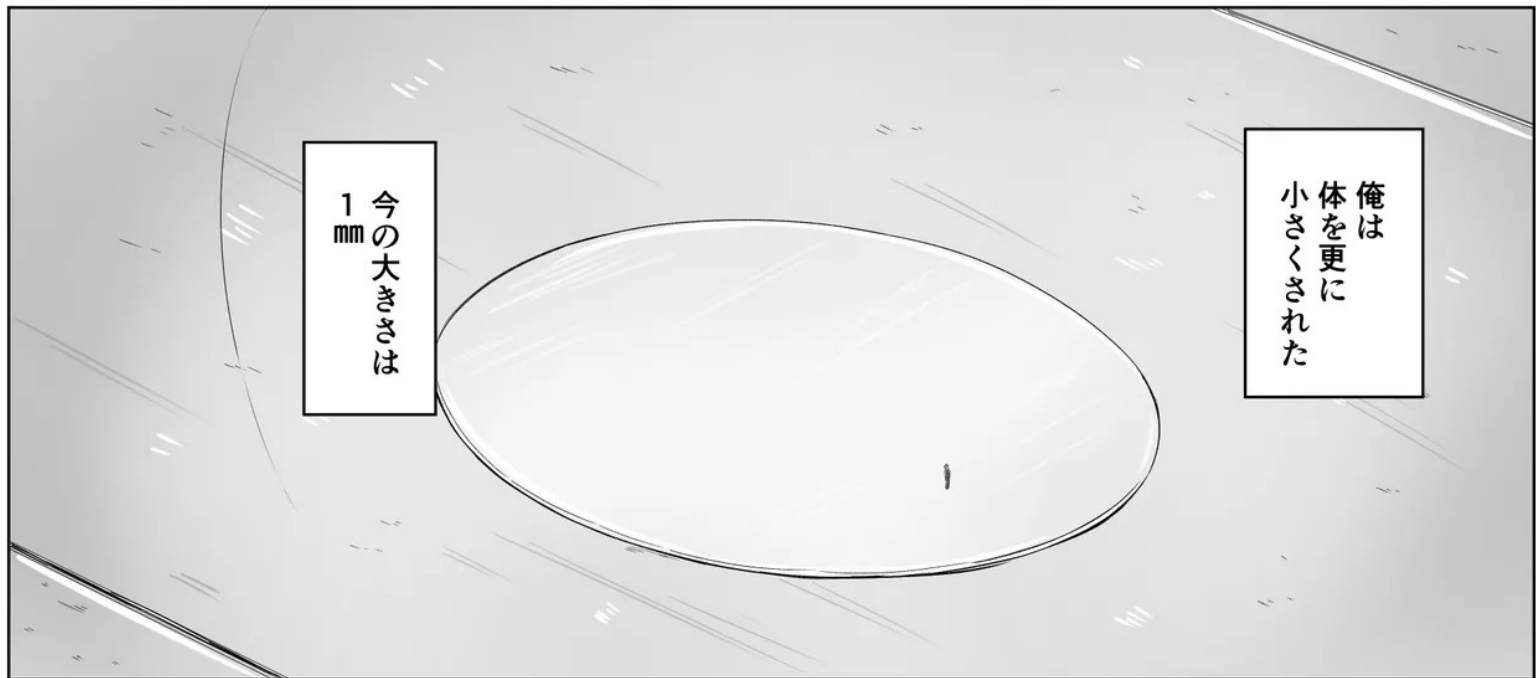
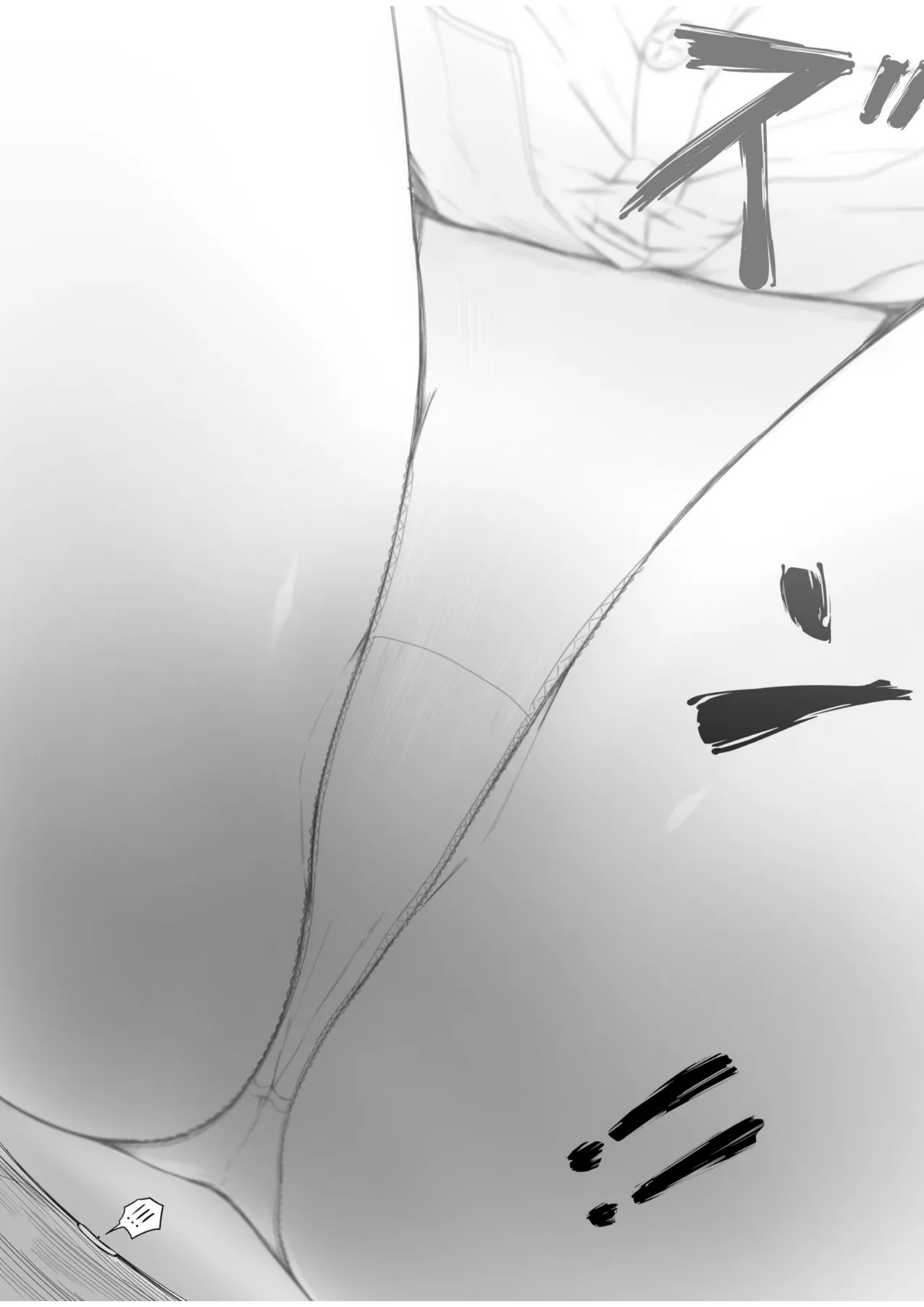




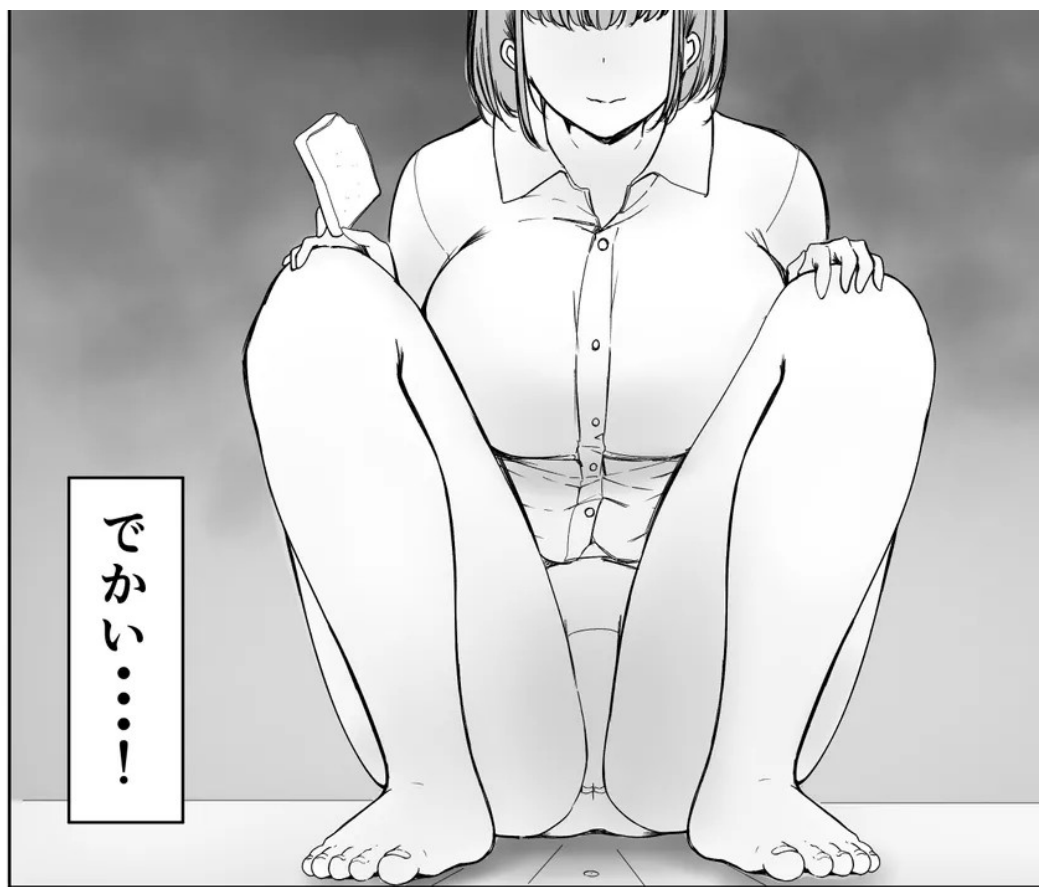






今でも
信じられない...

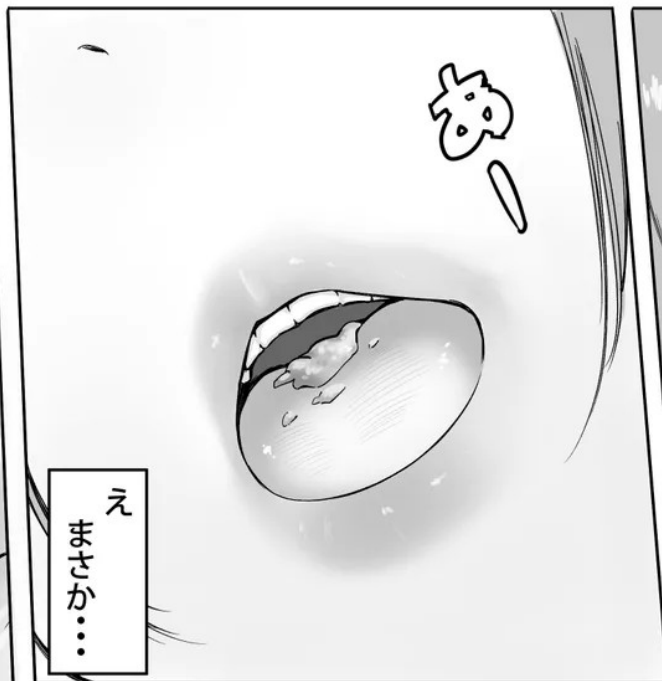
この超大きい
生き物が俺の
妹だなんて



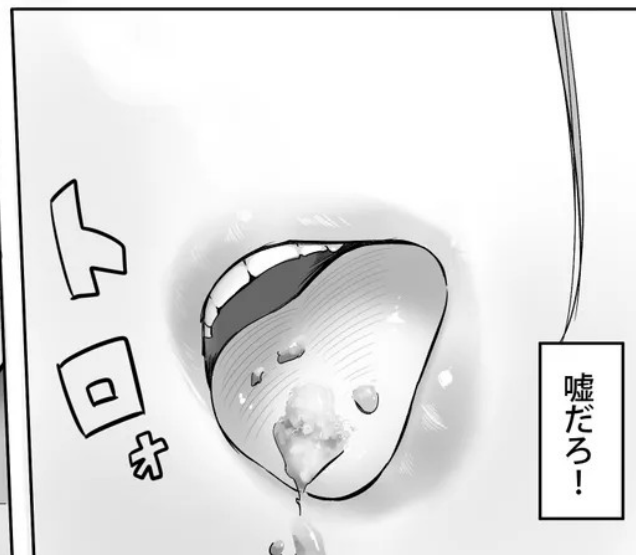
でかい...!!



よだれと混ざった
パンが降ってくる!



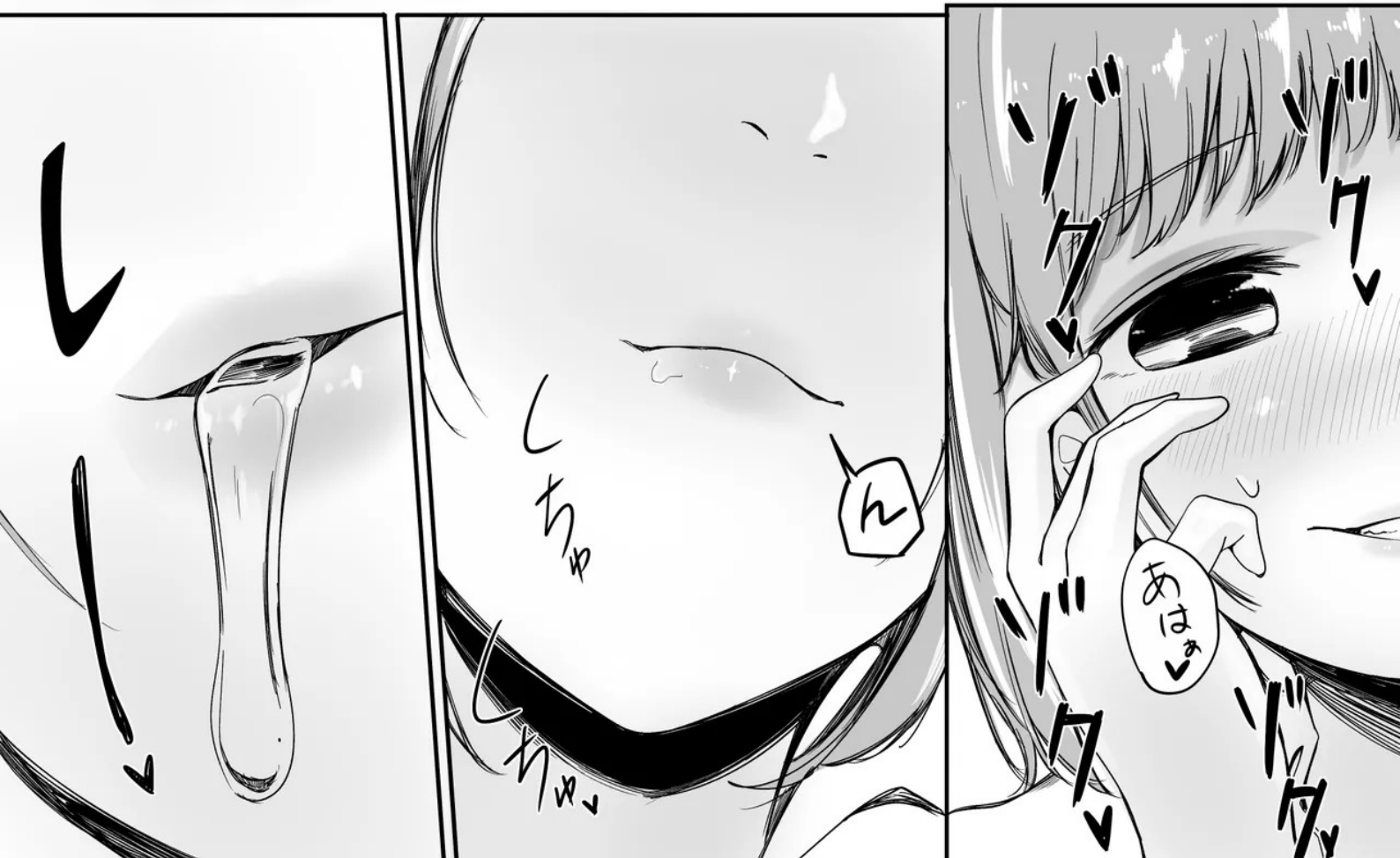
え
まさか...

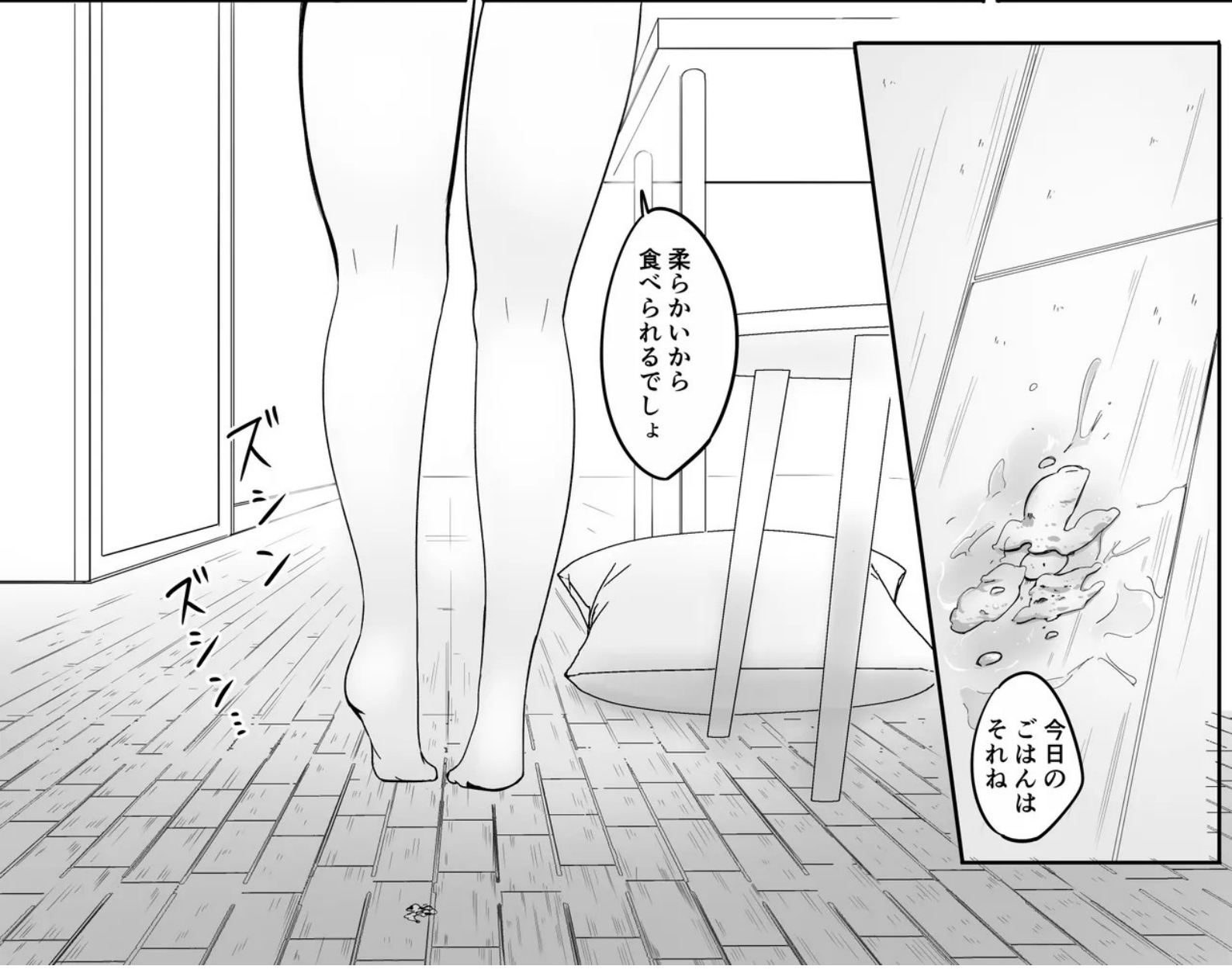
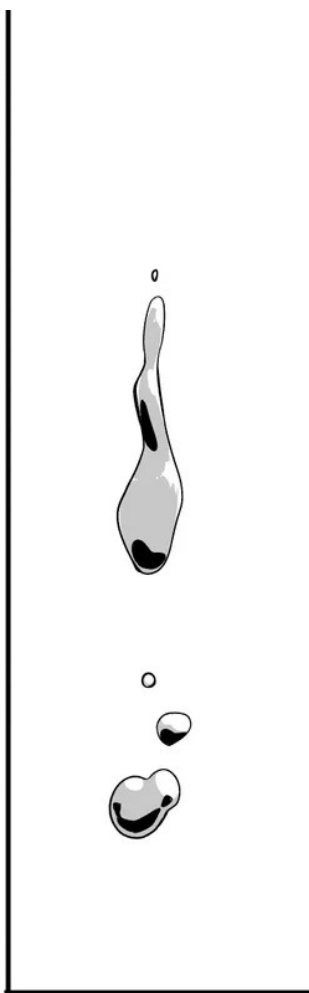


嘘だろ!



今ごはん
あげるからねー





数週間後



よし

おんが
書類...

コンコン。



もうお兄ちゃんの
給付金が無くても
生きていける
もんね...



あら

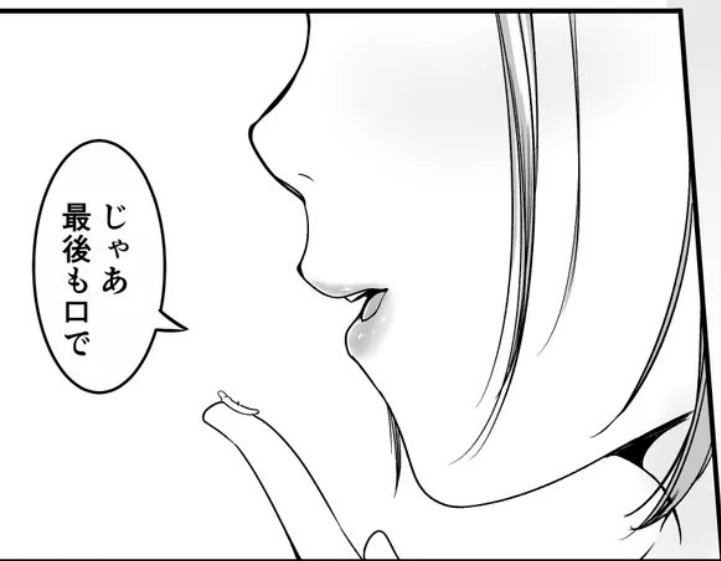
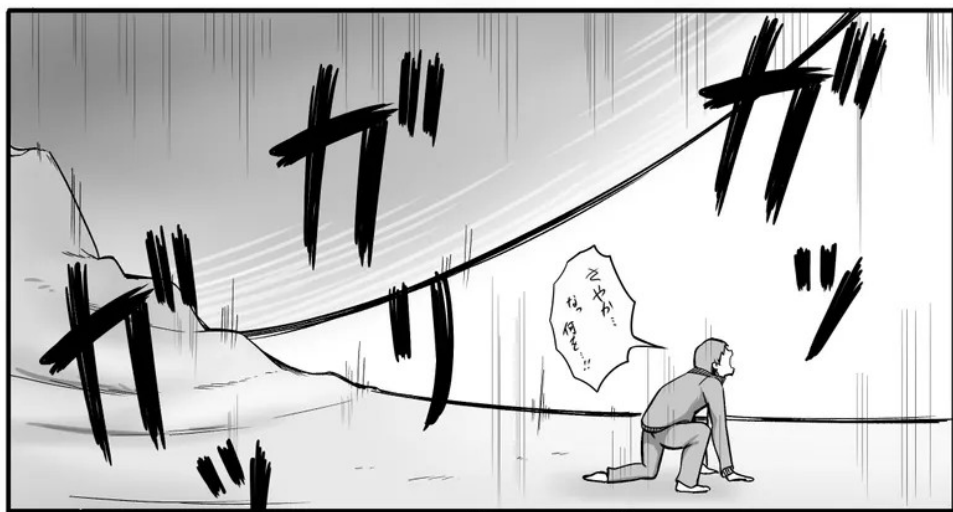


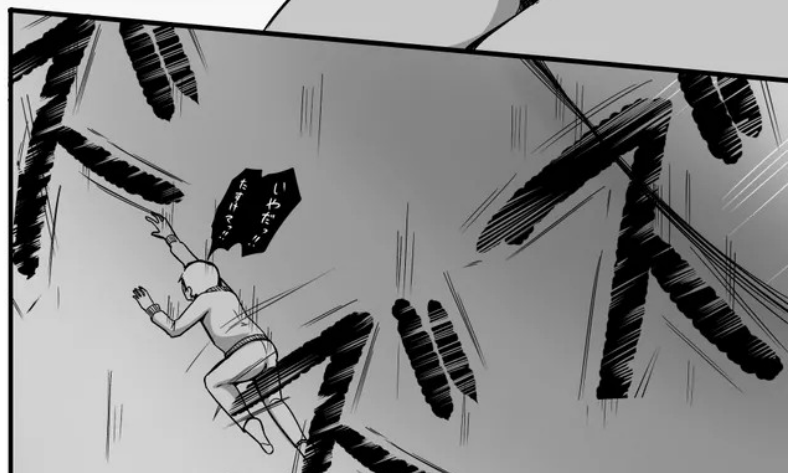
ちゃんと
シールの上に
居る

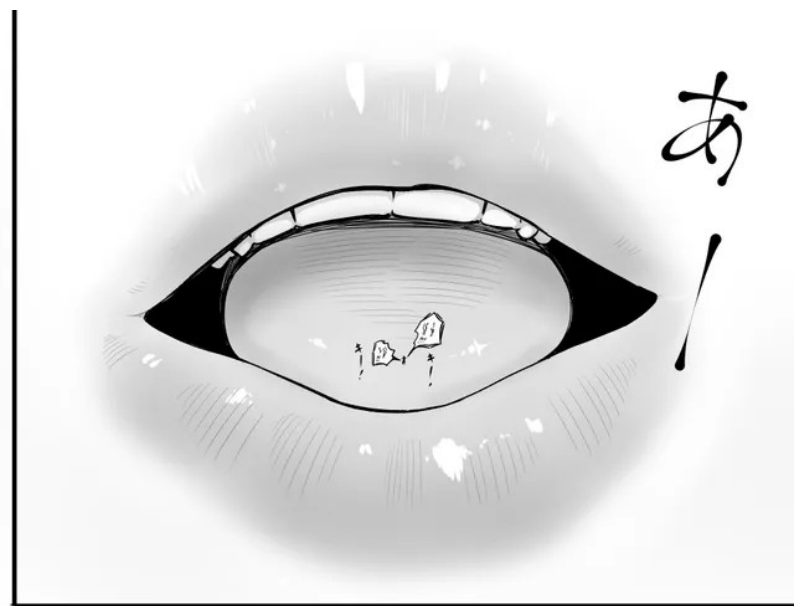
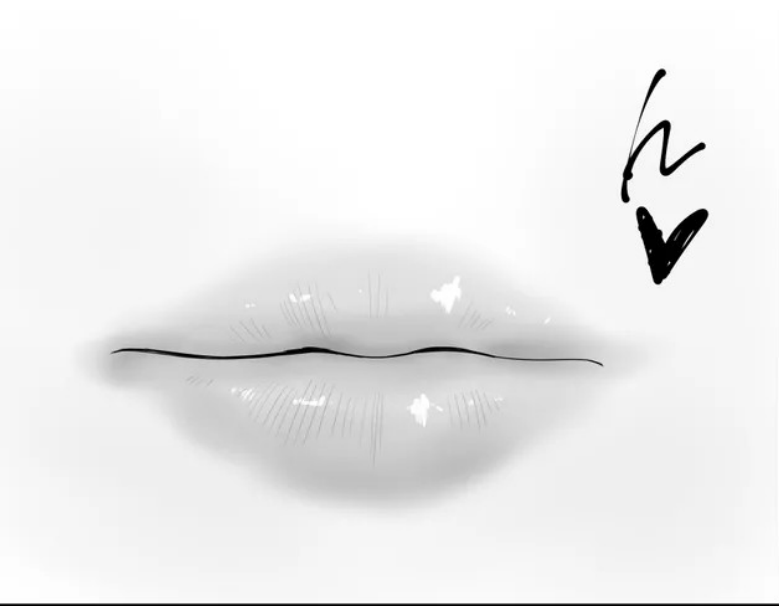
いい子

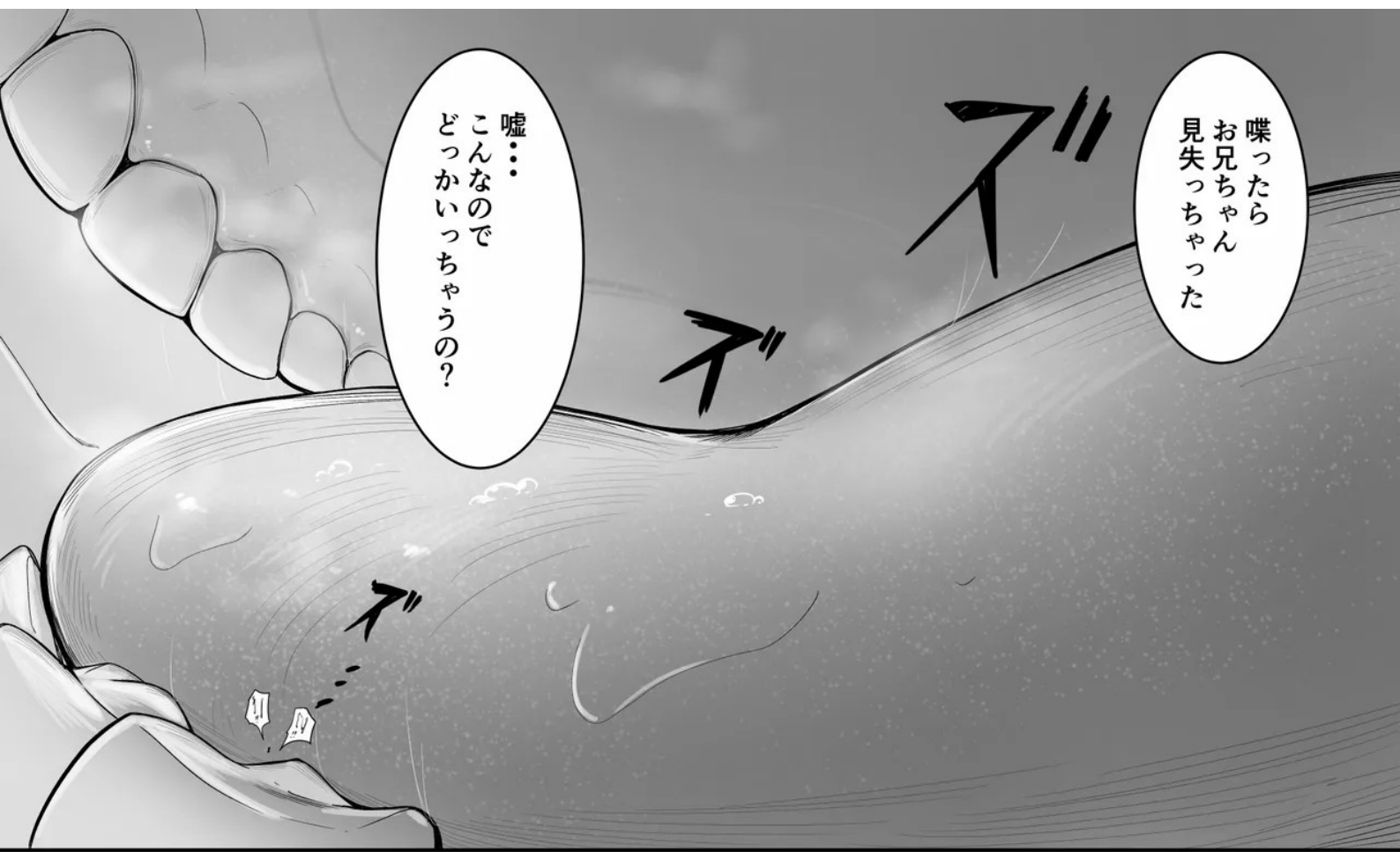


最後はお兄ちゃんが
喜びそうなやり方で
終わりにしようね



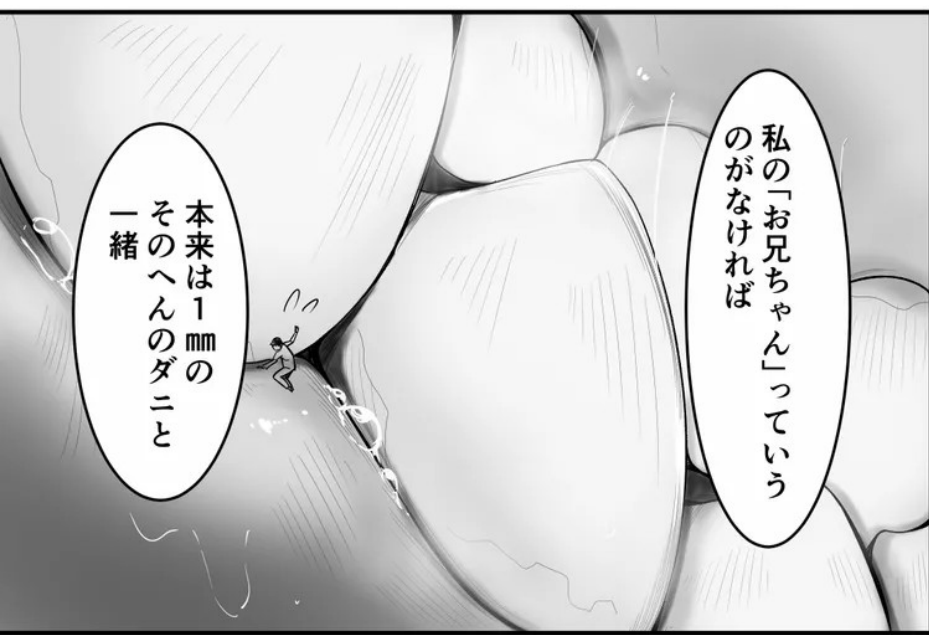






喋ったら
お兄ちゃん
見失っちゃった

嘘…
こんなので
どっかいっちゃうの？



私の「お兄ちゃん」っていう
のがなければ

本来は1mmの
そのへんのダニと
一緒



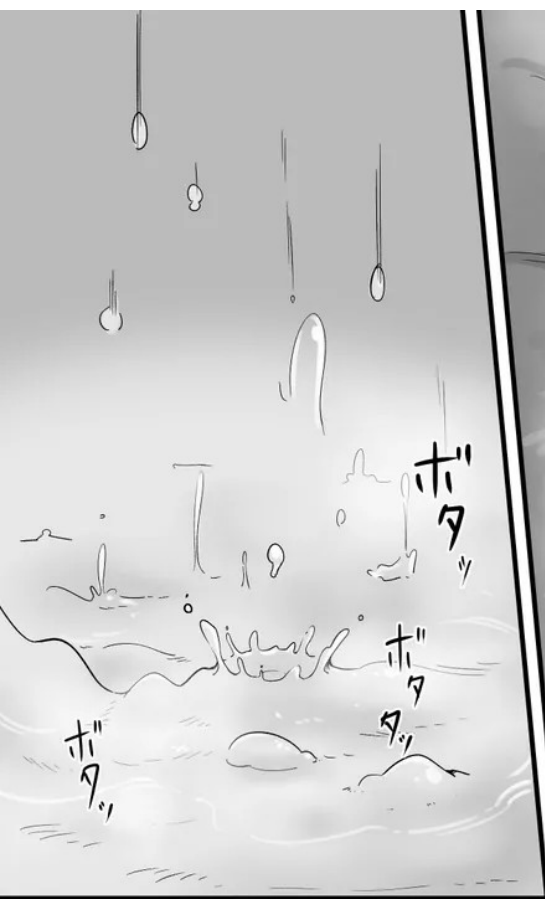
私が喋っただけで
簡単に唾液に
流されちゃう
ちっちゃな存在
なんだよね



そっか…
そうだよ







さよなら
私のお兄ちゃん
だった人